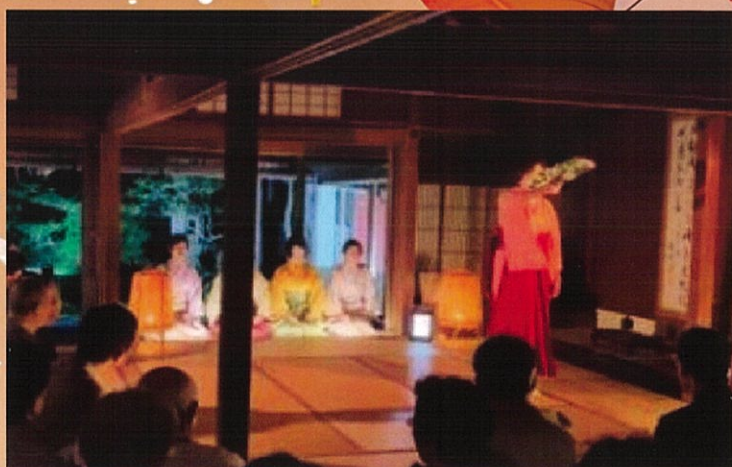


ライトアップされた庭を眺めながらー

幽玄な能楽を楽しむ

世界最古の能楽を堪能してください



賛助出演 しず子ばあちゃんの富山の民話

日時

令和7年10月12日(日) PM5時～7時15分

場所

高岡市土蔵造りのまち資料館
高岡市小馬出26番地

料金

入場無料
(お気軽に見に来て
ください)

連絡先

☎090-8966-4217 吉田俊平





宝生流の能の世界へ



「高岡能楽会」は、来年創立 50 周年を迎えます。日本の能楽の高揚発展を計り、会員相互の親睦を深めることを目的としています。

高岡市文化芸能館(旧青年の家)ここを基盤にして、能楽活動をしています。

高岡市には立派な能舞台があります。



高岡能楽会
ホームページ



「宝 生 流」は、五大流派の一つで、能楽は今からおよそ 650 年前の室町時代に大成された伝統芸能です。

宝生流は上品で奥深い雰囲気の特徴です。加賀藩前田家が宝生流を手厚く保護したことにより、

高岡では今でも多くの人に愛されています。

〈素 謡〉 舞も囃子もなく座ったまま数人で謡うものです。

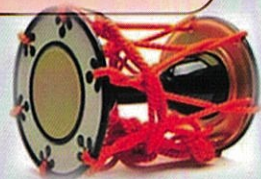
〈仕 舞〉 囃子無しで紋付き・袴で能の見せ場を舞うものです。

〈一調一管〉 能楽の演奏形式の一つで、打楽器(小鼓、大鼓、太鼓)や笛一人と謡い手数人が協力して演奏するスタイルです。

〈舞 囃 子〉 紋付き・袴で能の見せ場を囃子入りでするものです。

【プログラム(演目の紹介)】

仕 舞	熊 野	病母への想いを胸に清水寺の落花を浴びて舞う憂愁の美女。
	八 島	義経が主人公で、死後に修羅道に堕ちた武将として現れます。
	羽 衣	漁夫に奪われた羽衣。それを得て歓喜の舞を舞いつつ昇天する天女。
	岩 船	天の探女が宝物を積んだ岩船を漕ぎ寄せ神の加護を祝う能で国際交流や貿易の背景が描かれています。
	高 砂	老夫婦による長寿と夫婦愛と和歌の徳の讃美。
	鞍馬天狗	鞍馬山の奥。牛若に平家倒滅の兵法を授ける大天狗。力感に満ちた能。
	田 村	清水寺の花の下に戯れる美少年は、この寺の発願者であり、勇将として名高い坂上田村麿の化身。



一 調 一 管 鞍馬天狗

仕 舞	玉 葛	『源氏物語』の玉鬘物語に取材して、玉鬘の数奇な運命と恋の妄執を描き出した作品です。
	小 歌	能・狂言の中で、室町時代の俗謡を取り入れたとされる部分のこと。
	葛 城	古い葛城山の伝説・神話を伝えるような内容で、神秘的で詩情が感じられます。
	藤	盛りの藤の花に見惚れ、僧の夢に藤の精の本性が現れ、舞い戯れるうち朝霞と共に消えて行く。
	黒 塚	決して寝室を覗かないようにという女の言いつけを破り、中を覗くとそこには死体の山・・・。



<賛助出演> 「紅葉姫」 しず子ばあちゃんの富山の民話 後明志津子

仕 舞	雲 林 院	「伊勢物語」の抒情を舞う在原業平の霊。絢爛たる恋の喜びと悲しみ。
	須磨源氏	『源氏物語』の主人公・光源氏が須磨の浦に住んだ時期を素材にした作品です。
	猩 々	一曲が祝言の趣を持った曲です。
	藤	盛りの藤の花に見惚れ、僧の夢に藤の精の本性が現れ、舞い戯れるうち朝霞と共に消えて行く。
	山 姥	深山幽谷の神秘を背景に、月光の下、遊女と山姥の心温まる交流を描く。
	松 風	恋慕の情の表現が際立ち、うねるようなその変化が、ほかにないような面白さを導き出しています。
	三 笑	三笑の物語は、異なる価値観や宗教、立場を超えて理解し合うことの意義を教えています。



舞 囃 子	西王母	古代中国の西王母伝説をもとにした協能です。
	岩 船	天の探女が宝物を積んだ岩船を漕ぎ寄せ神の加護を祝う能で国際交流や貿易の背景が描かれています。

【出 演 者】「高岡能楽会」有志の会員の皆さん 他 (あいうえお順)

雨池裕子	鍛冶宣子	川原基子	小島良作	寺田 茂	般若雄治	松波淳子	向山 登	吉田俊平
在田田鶴子	金森勇達	河原裕子	指中真由美	永井有子	広上ゆかり	松本一郎	村本涼世	米澤百合子
板谷晴江	上子美紀	岸本郁夫	瀬賀智香枝	西島実雪	二上千恵子	松本洋子	安川甚一	(特別ゲスト)
大石光夫	川津良成	車 伸代	瀬戸久美子	巴陵嘉子	堀田定廣	宮村勝之	横田栄子	後明志津子